

エルフ

DPD 強制再生要領

■対応車種:エルフ

■対応年式:平成 16 年 6 月～平成 18 年 10 月

G-scan を使用して行うエルフの DPD 強制再生要領を記載しますので、参考にしてください。



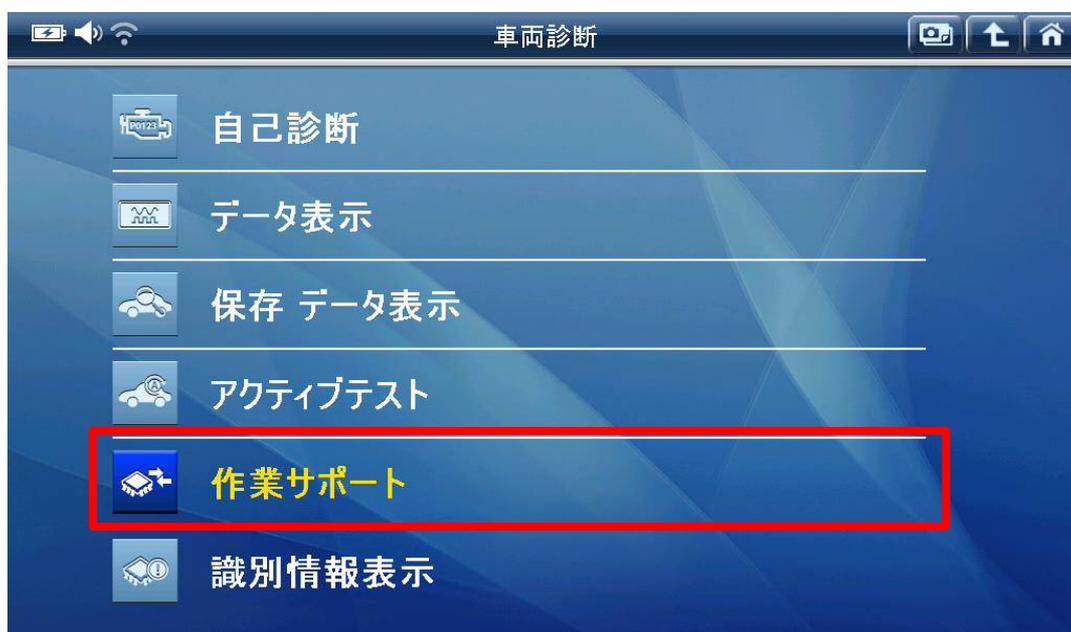
※注意※

- ・DPD 強制再生は車両停止状態、車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行してください。
- ・DPD 強制再生を行う際はシフトレバーPレンジまたはNレンジでパーキングブレーキを効かせた状態で作業を行ってください。
- ・DPD 強制再生を連続で行うと DPD に負荷がかかります。
- ・DPD 強制再生を行う際は車両の周辺に人や可燃物などが無いことを確認してください。
- ・PTO 装着車は、PTO の作動を停止してください。
- ・DPD 強制再生中は白煙が発生する場合があります。換気の悪い場所での作業は行わないでください。

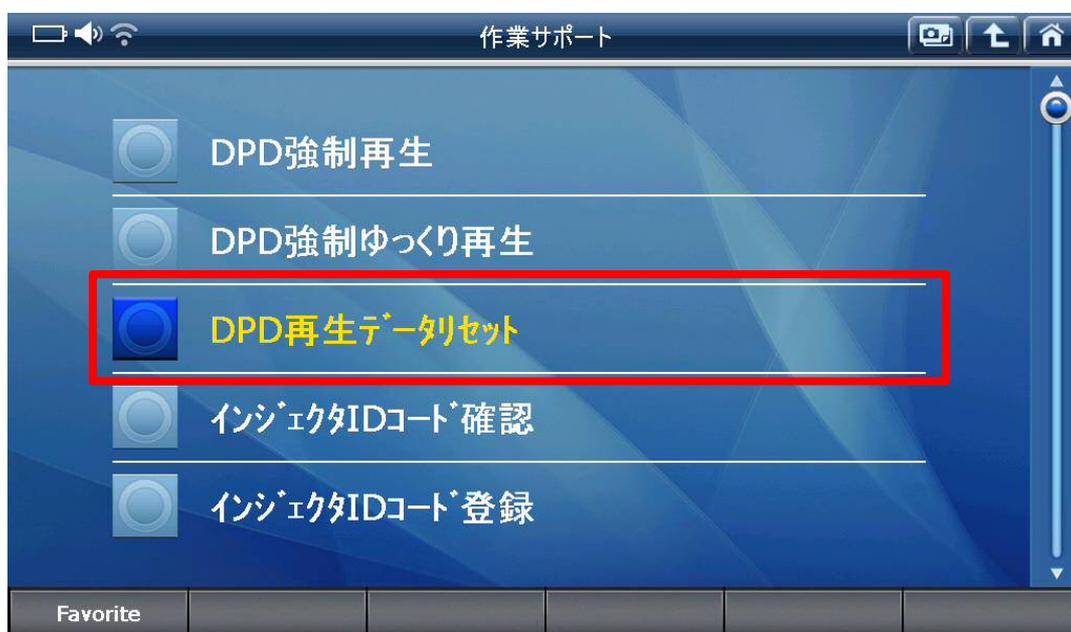
DPD 強制再生要領

1. IG OFF の状態で、G-scan を DLC3 コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
2. IG SW ON およびエンジン停止の状態で、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『エンジン』を選択してください。

3. 診断メニューにおいて、『作業サポート』→『DPD 再生データリセット』の順番で項目を選択してください。

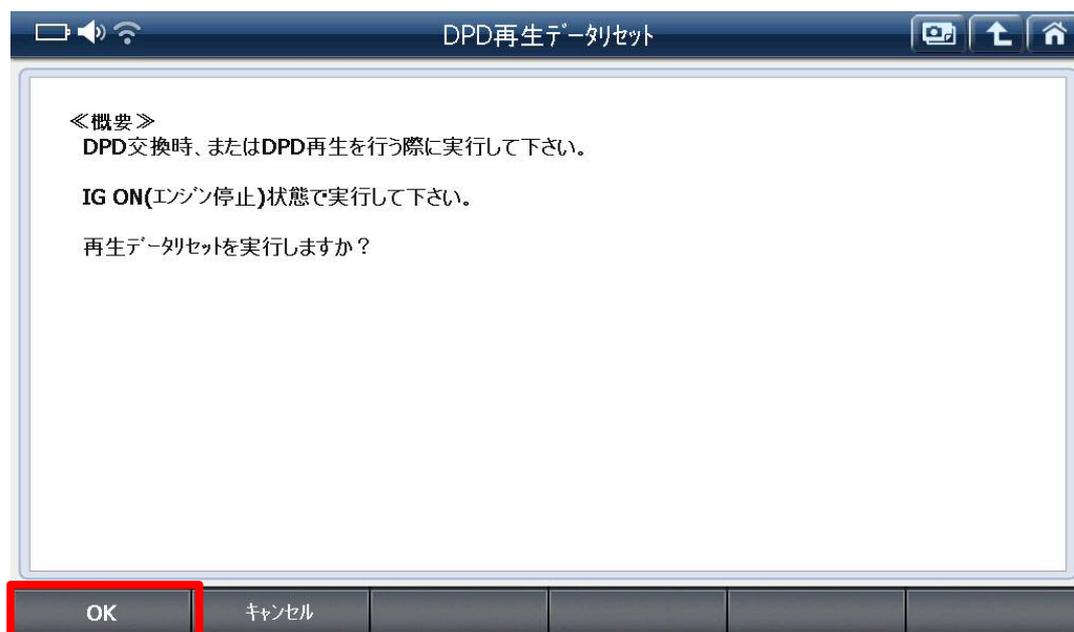


〈図: 作業サポートを選択〉



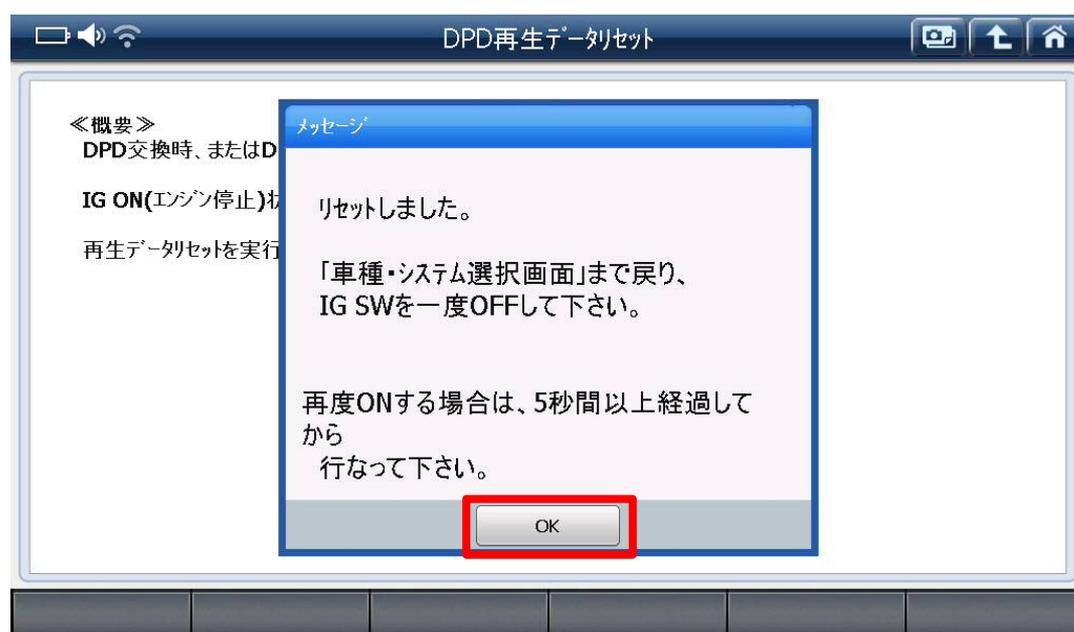
〈図: DPD 再生データリセットを選択〉

4. メッセージを確認後、実行してください。



〈図: DPD 再生データリセットを実行〉

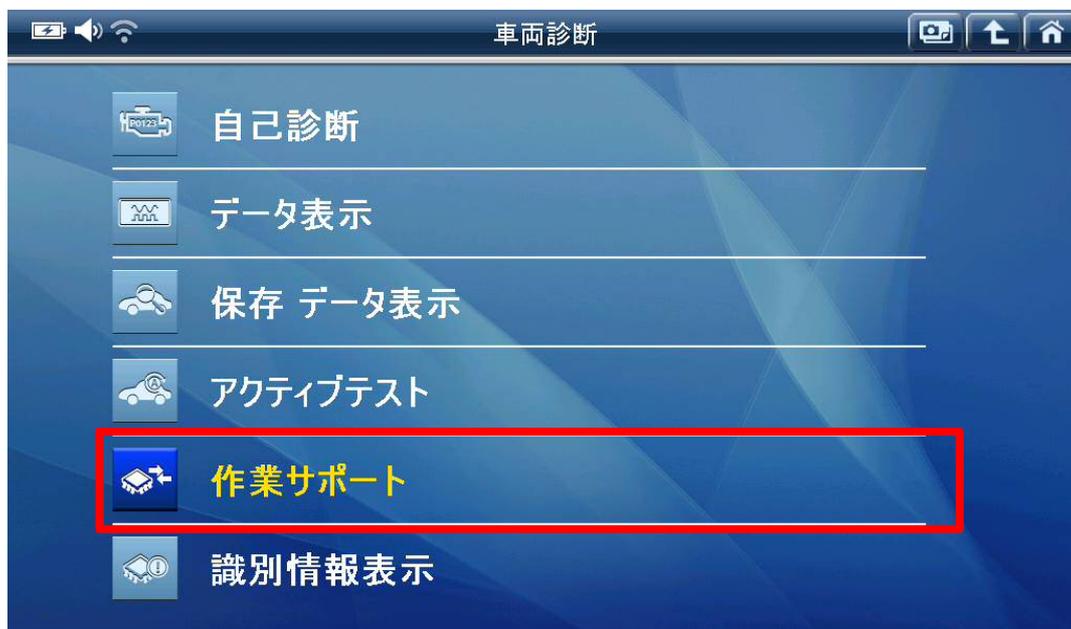
5. DPD 再生データリセット完了のメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作し、DPD 再生データリセットを終了してください。



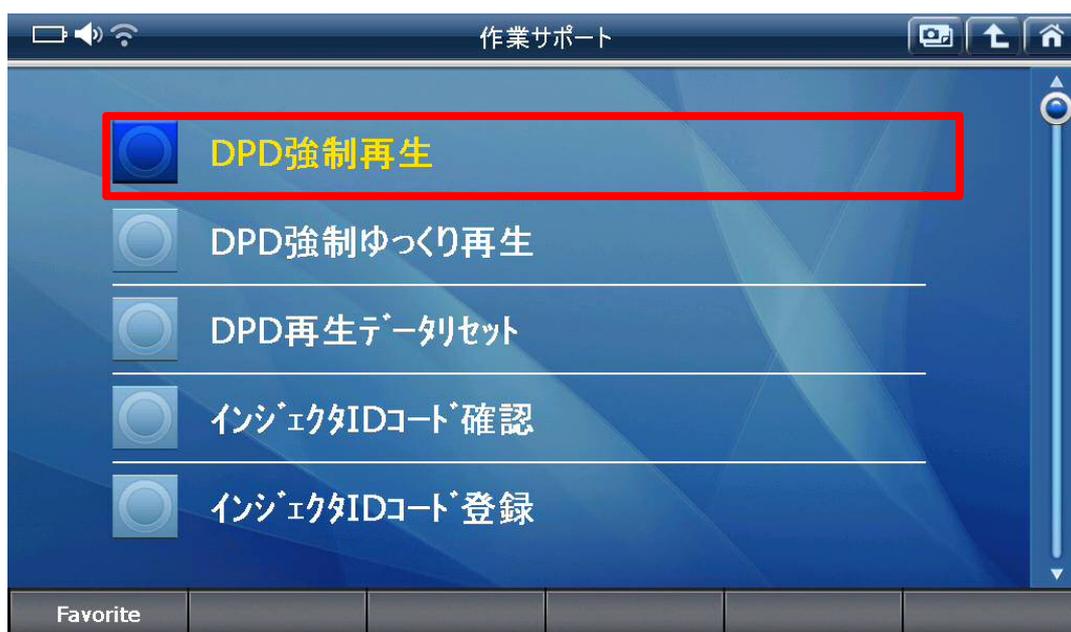
〈図: DPD 再生データリセットを終了〉

6. IG SW ON およびエンジン始動の状態で、車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『エンジン』を選択してください。

7. 診断メニューにおいて、『作業サポート』→『DPD 強制再生』の順番で項目を選択してください。

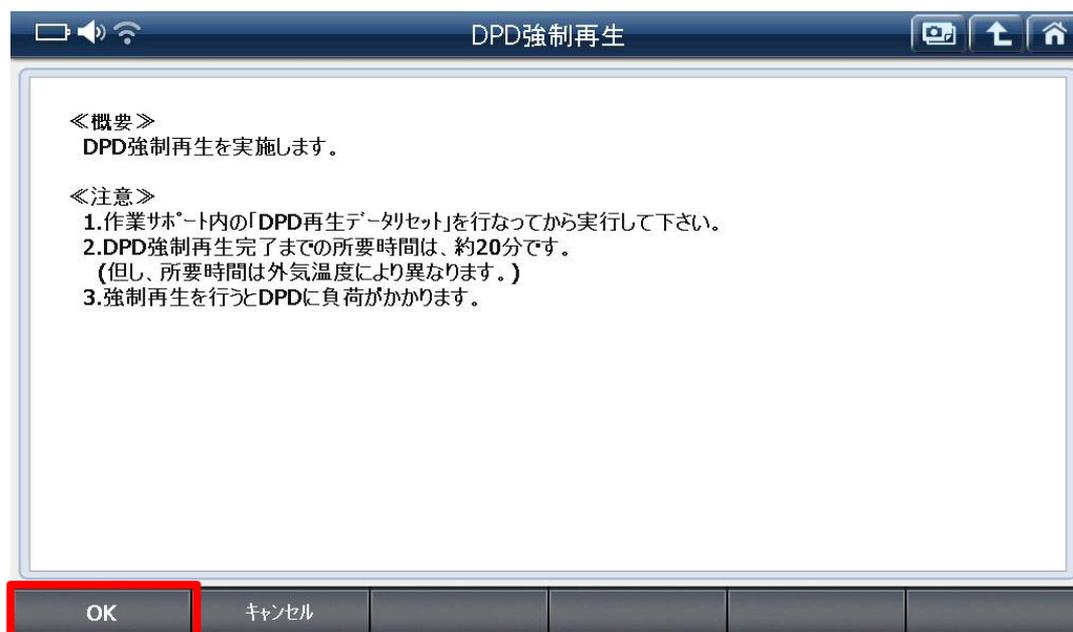


〈図: 作業サポートを選択〉



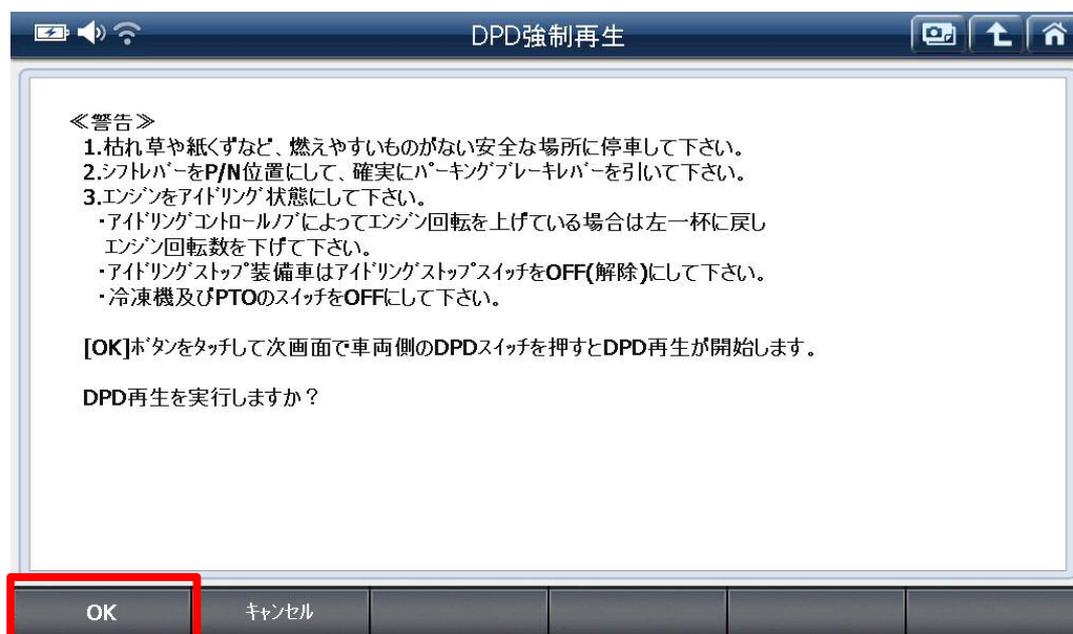
〈図: DPD 強制再生を選択〉

8. 注意メッセージを確認後、実施してください。



〈図:DPD 強制再生を実施〉

9. 警告メッセージを確認後、実行してください。



〈図:DPD 強制再生を実行〉

10. DPD 強制再生中の状態が表示されます。画面の操作内容を確認後、車両側の DPD スイッチを押してください。

※注意※

- ・車両側の DPD スイッチを押すと DPD 強制再生が始まります。
- ・車両状態により操作内容が異なる場合があります。

項目名(1/8)	現在値	単位
エンジン回転速度	714.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	65.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	60.0	°C
DPD 排気差圧	0.3	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	80.0	
DPD 再生状態	Please Push	
■次に従って操作して下さい	DPD Switch	

再生中止

〈図：操作内容を確認〉

11. DPD 強制再生開始後、自動的にエンジン回転数が上がり、排気温度 2(酸化触媒前)、排気温度 1(フィルタ前)が上昇します。

DPD強制再生		
項目名(1/8)	現在値	単位
エンジン回転速度	765.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	245.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	230.0	°C
DPD 排気差圧	0.3	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	220.0	
DPD 再生状態	Waiting Temp	
■次に従って操作して下さい	Not necessary	
再生中止		

〈図:再生予備昇温中〉

DPD強制再生		
項目名(1/8)	現在値	単位
エンジン回転速度	2045.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	510.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	465.0	°C
DPD 排気差圧	0.3	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	230.0	
DPD 再生状態	Regeneration1	
■次に従って操作して下さい	Not necessary	
再生中止		

〈図:DPD 強制再生中〉

12. 約 20 分経過後、エンジン回転数が下がり『DPD 再生状態』が『浄化判定中』となります。画面の操作内容を確認後、エンジン回転数を 2000RPM 以上にしてください。

※注意※

・所要時間は外気温度や車両状態により異なります。

項目名(1/8)	現在値	単位
エンジン回転速度	770.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	350.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	305.0	°C
DPD 排気差圧	0.3	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	10.0	
DPD 再生状態	Judging	
■次に従って操作して下さい	more 2000 rpm	

再生中止

〈図: 浄化判定中〉

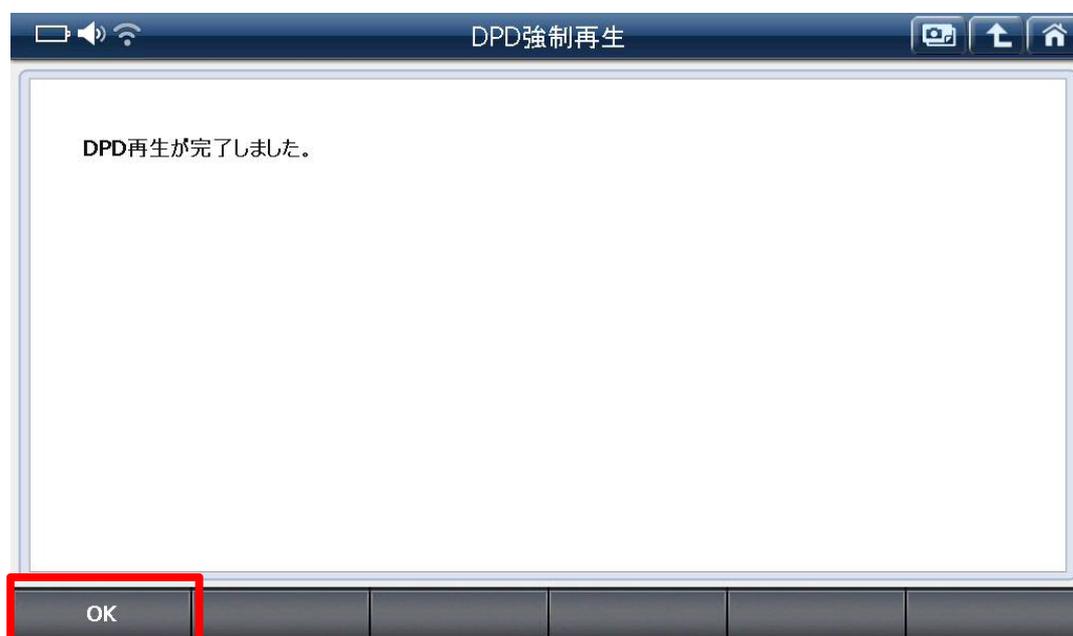
13. 『DPD 再生状態』が『再生完了』と表示され『DPD 強制再生』の完了画面に移りますので、『OK』または『F1』ボタンを押して完了してください。



項目名(1/8)	現在値	単位
エンジン回転速度	770.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	350.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	305.0	°C
DPD 排気差圧	0.3	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	20.0	
DPD 再生状態	Please wait	
■次に従って操作して下さい	Idle conditions	

再生中止

〈図:DPD 強制再生完了〉



〈図:DPD 強制再生完了を確認〉